

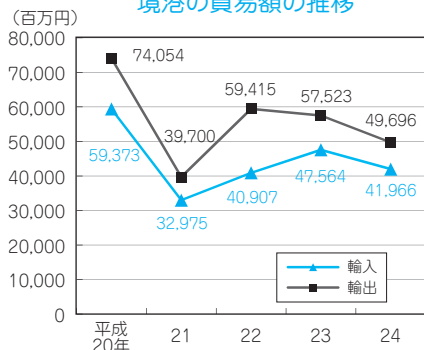
(貿易)

平成20年から平成24年までの貿易統計による境港の貿易額の推移を見ると、平成21年に輸出、輸入とも大幅に減少しましたが、22年には増加となり、24年は輸出、輸入とも減少しました。

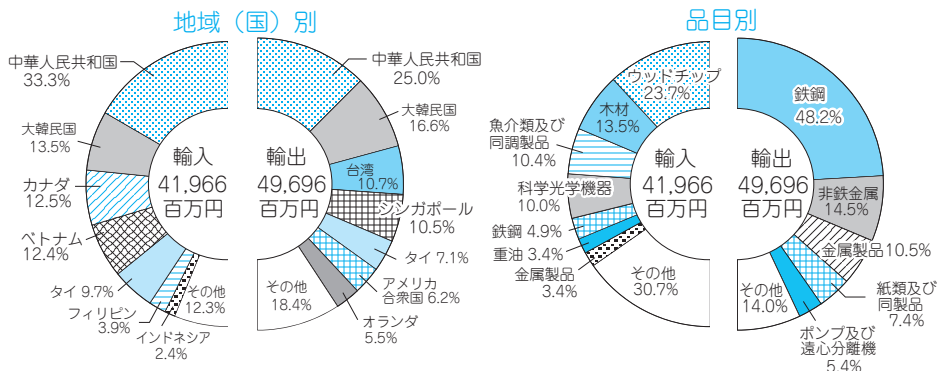
平成24年の地域(国)別貿易額の割合を見ると、輸入、輸出とも「中華人民共和国」の占める割合が最も高くなっています。

また、品目別貿易額の割合を見ると、輸入では「ウッドチップ」の占める割合が最も高く、次いで「木材」「魚介類及び同調製品」となっています。一方、輸出では「鉄鋼」の占める割合が最も高く、次いで「非鉄金属」「金属製品」となっています。

境港の貿易額の推移



境港の主要地域(国)別、品目別貿易額の割合(平成24年)



境港の貿易額

単位：百万円

項目	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
輸出額	74,054	39,700	59,415	57,523	49,696
うちアジアNIEs	34,457	20,629	25,525	22,593	19,400
うちASEAN	12,171	6,868	13,454	13,566	10,541
輸入額	59,373	32,975	40,907	47,564	41,966
うちアジアNIEs	6,620	3,634	5,535	5,334	5,767
うちASEAN	11,181	9,359	13,922	14,949	12,482
輸出入総額	133,427	72,676	100,322	105,087	91,662
外国貿易船入港隻数	497隻	433隻	531隻	529隻	499隻

資料 神戸税関「貿易統計」

アジアNIEs…大韓民国、台湾、香港、シンガポール
 ASEAN…タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア